

村のがまだしモン

No.10

村で頑張っている人を紹介します

南阿蘇村 地域支え合いセンター



熊本地震の発災後、昨年9月に発足。8名の常駐スタッフが、被災者の見守りや生活支援、健康づくりなど総合的に取り組まれています。

現在、村内外8カ所の仮設住宅と1千軒を超えるみなし仮設住宅で不自由な生活を強いられている村民がいらっしやいます。こうした被災村民へ、①電話や訪問での見守り支援、②個別の困りごと相談、③健康づくりのサロン活動を実施。必要に応じて、行政や関係団体へつなぎ、生活再建のお手伝いに日々、励んでおられます。

また毎月1回、行政の關係課、社会福祉協議会など關係各所と「連携会議」を実施。

訪問活動が多かった被災村民の声を共有し、課題解決に向けた意見交換も行っているそうです。お困りごとをお持ちの被災村民の皆様、一度お気軽にご相談されてみては如何でしょうか。

☎0967-671-3607



健康づくりサロンの様子

復興推進課集落支援員

北里 かおりさん 長野地区

この度、復興推進課の集落支援員に任命されました。これまでの1年間は、被災現場や仮設住宅団地への支援他の被災地でのお話や専門家のアドバイスを通じて、内側と外側から力強い支えを体験させて頂きました。これからの1年間は、新たな生活への再建に向けての不安や疑問・可能性を皆様と一緒に共有しながら次へ進む一助になれるよう復興に向けて歩ませて頂きたいと思えます。

長野 梢人さん 下田地区

昨年の震災から1年が経ちました。村民の皆様におかれましては、まだまだ先の見えない生活を送られているかたも多くいらっしやることと思えます。

集落支援員として生活再建や仮設住宅での支援など南阿蘇に暮らす皆様のご要望など気軽に話しかけて頂き、一緒に悩んで一緒に復興していきましよう。よろしく願っています。



復興へ向けて頑張るお二人

編集後記

震災から早一年が経過しました。例年、農家の皆様は田植えの準備に追われる時期だと思えますが、未だ農地復旧の目処も立っていない地区もあります。新村長も誕生しました。

復旧・復興が足踏みすることなく、執行部・議会・職員そして村民一丸となつてスピード感を持ち、今までの以上の南阿蘇村に復興していかうではありませんか。

広報紙は、本号から新メンバーでの発行となります。議会の動きが一目でわかるよう、努力してまいります。よろしく願っています。

議会広報特別委員会
委員長 丸野健一郎

議会広報特別委員会

委員長 丸野健一郎
副委員長 太田吉浩
委員 笠野眞喜
" " " 今村竜喜
" " " 梶原辰郎
" " " 今村輝宏

発行責任者

議長 荒牧俊一